

## 教育カウンセラーの職務

教育カウンセラーの資格がペーパーライセンスのように扱われるのを避けたいので、老婆心ながら、以下のような活動領域を示した。すべての教育カウンセラーは下記の諸領域の何れかで実践活動をしようではないか。それが今の日本の教育界にコミットする方法である。

### 1. 学級経営

- (1) 仲間意識を育てるために構成的グループエンカウンターやグループワークなどを用いてリレーション作りをする。
- (2) 機能性のあるグループ作りのために役割関係を育てる。
- (3) 柔軟性のあるリーダーになるためイラショナル・ビリーフにふりまわされないよう自己点検をする。

### 2. 進路指導

- (1) 折あるごとに、人はどんな仕事をどんな思いでしているかに触れさせる。
- (2) 折あるごとに、教育カウンセラーは自分のアイデンティティと体験を語る。
- (3) 折あるごとに、自分の「したいこと」(興味)と「できそうなこと」(能力)を発見する機会を提供する。

### 3. 対話のある授業

- (1) おもしろくて、ためになり、学問的背景のある授業を工夫する。
- (2) 児童・生徒どうしのシェアリングを取り入れる。
- (3) インフォームド・コンセントを取り入れた導入をする。
- (4) ワークショップまたは体験学習が可能なら、それをプログラムに入れる。
- (5) 時折は授業の内容・方法について児童・生徒のフィードバックをとる。

### 4. 特別活動

- (1) 目標達成のためには、異年令集団が適切か、同年令集団が適切かを検討する。
- (2) 目標達成のためには、グループサイズはどのくらいが適切かを検討する。
- (3) リーダーの介入の度合を状況に応じて判断する。
- (4) プログラムの内容を動機づけと効果の二点から検討する。  
要するに特活が事務的・機械的なマンネリズムに陥らないよう注意する。

### 5. サイコエジュケーション

- (1) スキルの教育をする(コミュニケーションスキル, アサーションスキル, ソーシャルスキル, スタディスキルなど)
- (2) 思考の教育をする(人権教育, 敬老教育, 薬物依存防止教育など)
- (3) 感情の教育をする(合唱, カラオケ大会, ユーモア・落研, ダンスなど)

### 6. 個別面接

- (1) 児童・生徒の元気のもとになるようなチャンス面接をする(廊下や駅での立話)
- (2) 児童・生徒の元気のもとになるようなおしかけ面接をする(家庭訪問, 子どもの雑談への仲間入り)

- (3) 児童・生徒の元気の元になるような呼び出し面接をする（元気がないようだが…，遅刻が多いようだが…，家に帰りたくないようだが…，体に傷があるようだが…など）
- (4) 進路・学業・適応に関する児童・生徒・保護者の自主来談にはきちんと応じる。
- (5) 他の教師からリファーされた児童・生徒の依頼面接に応じる。

## 7. ガイダンスの年間計画づくり

学年単位または学校単位で次の領域のいずれかで年間計画をたてる。

- (1) 進路指導
- (2) 特別活動
- (3) 学級づくり
- (4) サイコエジュケーション
- (5) 保健指導

## 8. ガイダンスカリキュラムの開発

上記のそれぞれの領域で，実施しやすく効果のあるエクササイズや資料などを開発する。

## 9. 生活環境の変化に起因するストレスを予防するためのカウンセリングを行なう

親の失業，親の不和，離婚，転居，転校，異文化間の移動などに由来するストレスに対応する個別面接や集団カウンセリングを行なう。

## 10. コンサルテーション

保護者，教師，養護教諭，スクールカウンセラー，地域の機関などと援助チームをつくる。

## 11. コーディネーション

研修会の企画・実施（例・助言者，講師などとの打合せ），ガイダンスプログラム実施に関する助言・調整役。校内外の連携の窓口。

## 12. 地域・家庭支援

- (1) 地域の人々同士が連帯感を感じられるようなグループワークを用いて地域のリレーション作りをする。
- (2) 学校・家庭・地域のつなぎ手として，健全育成にかかわる活動を組織し，そのリーダーとしての役割を果たす。

## 13. 調査研究

- (1) ガイダンスプログラムをつくるための事前の実態調査。
- (2) ガイダンスプログラムの効果のアセスメント。

## 14. 指導

- (1) 上記の 13 領域の何れかについて講義できる。
- (2) 上記の 13 領域の何れかについて指導助言（スーパービジョン，コンサルテーション）できる。
- (3) カウンセリングの主要理論について講義できる。
- (4) カウンセリングスキルの講義と実習指導ができる。
- (5) グループアプローチの講義と実習指導ができる。
- (6) カウンセリング概論の講義ができる。